

## Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI  
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

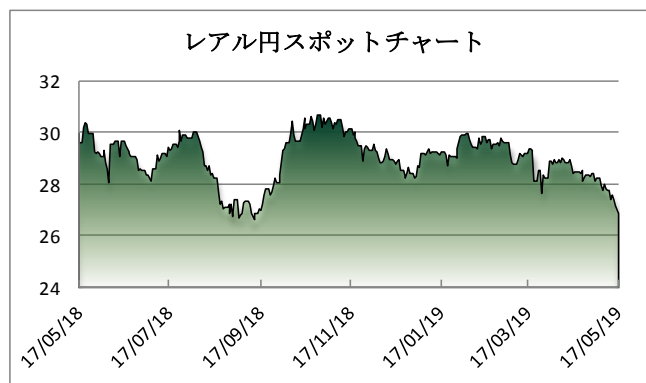
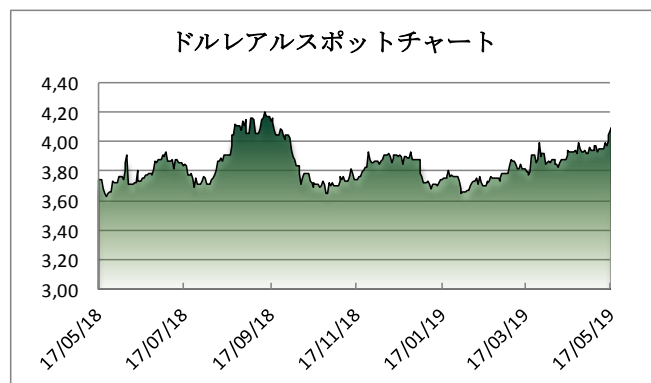
## マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、ブラジル売りの流れに変化はなく、早々に4.10台に到達。ボベスパ指数も節目の9万ポイントを割って取引を終えた。目先、足許のトレンドを覆す材料も期待できないことから、レアル相場については史上最安値更新が現実的な地合いとなっている。静観を続けているブラジル中銀であるが、仮に今週抵抗感なく4.20台に迫った場合、マーケットでは中銀が新規スワップ介入の実施に踏み切るとの観測が高まっている。過去の介入タイミング(2013年6月、2017年5月、2018年5月の3回)について分析したレポートによると、最初の介入は、①レアルの下落率が9%–16%のレンジに到達した場合、かつ、②他の新興国通貨と比較した場合の下落率が8%–10%に到達した場合(つまり、新興国通貨の中でレアルだけが売られている状況)、という状況で実施される傾向が強い。年初からのレアルの下落率は既に11%に到達しており、また、新興国通貨対比でも7%アンダーパフォームしていることから、新体制に移行したブラジル中銀が介入に踏み切るだけの正当性は既に十分あると考えられる。なお、ブラジル経済の見通しについて悲観的な声が目立ち始めているが、リオデジャネイロで開催されたイベントに登壇したGuedes経済相は、「心配はしていない」と、強気の見方を維持。足許で見通しが悪化している原因は、「政府による改革がまだ実現していないから」であり、「経済が上向かないのも当然である」と発言。下期に改革が実現できれば、「見通しは改善する」との見解を示している。また、同じイベントに出席したMaia下院議長も、頼みの綱である年金改革法案のスケジュールについて、「下院での票決は早くも6月後半、遅くとも7月前半に実施できる見通し」と述べている。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	5月16日	5月17日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,0449	4,0991	1,34%	4,02%	3,6374	4,1125
	対円	JPY	27,16	26,86	-1,10%	-5,54%	30,08	26,76
	対ユーロ	BRL	4,5209	4,5721	1,13%	2,68%	4,1646	4,5918
円	対ドル	JPY	109,85	110,08	0,21%	-1,77%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	122,75	122,80	0,04%	-2,98%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	90.024	89.993	-0,03%	-3,53%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	181,40	184,70	1,82%	7,72%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,99	9,10	1,22%	1,07%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,43	6,47	0,54%	0,08%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,51963	2,52188	0,09%	-2,69%	2,8039	2,5180
CRB Index (国際商品指数)		Index	182,32	180,99	-0,73%	-3,01%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。